

「笑顔」特別号

「桑梓 真夏の祭典」

昨年までの納涼祭が「ピース・サマーフェスティバル in s o u s h i」にサマ代わり。午後6時30分から午後8時30分に桑梓「かおる公園」にて開催されました。

来場者数は、主催者発表で400人。大盛況でした。

開催にご協力頂いた地域の方々、第一金屋昭和会、児玉町民謡愛好会、ホア・マリリエの皆様、また、七夕グループの方々、JNKテクニカルサポートさん、本当にありがとうございます。

当日の会場の雰囲気は？
 といいますと、お祭りの定番、提灯が皆さんをお迎え。たくさん吊されたやさしい明かりが何とも言えない味わいをももたらします。会場に入ると、どこか懐かしい風景が待っています。



こどもの力作が華を添える

焼きそばが焼ける音、立ちこめてくるソースの臭い。氷がシャキシャキ削れる音受け皿に重なって姿、シロップで氷が溶けていく感じ。そして、出店の威勢の良いかげ声があちらこちらから響き渡ります。、そして極めつけは、和太鼓の響き。

来られなかった方、本当に残念でした。もう同情しません。
 開催の様子を全部お見せできないのが非常に残念です。興奮と感動は写真では収まりきれません。ぜひ、会場しか味わえない熱気と一緒に楽しみませんか。
 来年、皆様のご来場をお待ちしております。

流れはこんな感じ

サマーフェスの野外特設ステージは、内容が盛りだくさん。かなり濃い！
 当日なのに午後2時から前夜祭（？）。アーティスト・ナトリのライブからオーブニング。その声、そのサウンド聴かせます、響きます、伝えます。フジロックなんか引けをとらない。納涼祭の参加者、ボランティアの方々の心はもうひとつ。
 午後6時30分、当法人の理事長によるセレモニー。その後を受けて、情熱の和太鼓が会場のテンションを一気に上げ、お祭り気分はアクセル全開。
 ご当地アイドル「きゆる

べり桜花」のパフォーマンスが華を添え、ホア・マリリエのフラダンスが来場者の心を鷲掴み。
 来場の熱気も各ブースも活気の相乗効果。真夏の祭典は、クライマックス。
 そして、「本庄音頭」がこだまする頃は、余韻を残しつつ、終演の時を迎えました。

あーあ、あ、夏祭り！



桑梓春秋
 ピース・サマーフェスティバル in s o u s h i の開催とともに平成30年度の夏休みを迎えました。各グループごとに外出したり、特に小学生男の子たちを中心に近くの山へカブトムシ、クワガタなどの虫取り。女の子たちは、施設の畑でできた夏野菜の収穫や料理。
 中高生は、部活や自分の進路に向けて頑張っていました。

社会に旅立とうしている子ども達がいいます。どのような方向になるのか、分かりませんが強い気持ちで進んで欲しいと思っています。

最後に皆さんのおかげで無事に夏休みを過ごせましたこと感謝申し上げます。